むすび

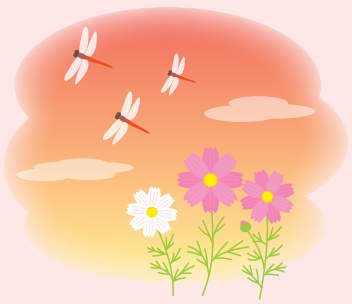
152号　2016年 秋季号

一般社団法人高知県労働者福祉協議会機関紙
高知市本町4丁目1-32　こうち勤労センター内
TEL 824-3583　FAX 875-4887
E-mail kochirf@shirt.ocn.ne.jp
ホームページ　http://www.roufuku.com
発行責任者　折田　晃一

コスモス　　写真提供：牧村光彰氏（労安センター）

◎主な内容

＊ 事業団・地方労福協合同会議を開催 …… 2P
＊ 地方労福協事務担当者研修会を開催 …… 3P
＊「幡多地区労福協・幡多ライフサポートセンター」合同総会開催 …. 3P
＊「高岡地区労福協」総会開催 …… 4P
＊「南国・香美・香南地区労福協」総会開催 …… 4P
＊「安芸地区労福協」理事会開催 …… 4P
＊ 幡多地区労福協「健康に関する学習会」開催 ……5P
＊ 勤労者の森事業《森林セラピーウォーキング》開催のお知らせ ….6P
＊ 久保谷セラピーロードMAP ……7P
＊ 四国労働金庫 第16回通常総会報告 ……8P
＊ 四国ろうきん「よさこい祭2016」 …… 9P
＊ 高知労済 第62回通常総代会開催 …… 10P
＊ 高知県生協連 第58回通常総会開催 …… 11P
＊ ペットボトルキャップを集めています …… 11P
＊ 連合高知「ファミリーフェスタ2016」開催のお知らせ …… 12P



2016年度 事業団･地方労福協合同会議を開催

７月 12 日～ 13 日に事業団体・地方労福協合同会議を約 80 名の参加で東京・ホテルラングウッドにて開催し、奨学金問題改善に向けた第３ステージ（９月～ 2017 年５月）の取り組み、「2016 生活底上げ･福祉強化キャンペーン」（コア期間 10 月～ 11 月）の取り組みなどについて協議した。

協議事項の「2016 生活底上げ・福祉強化キャンペーン」では、この間の取り組みの基本文書でもある労働団体・事業団体連携行動委員会の利用促進・共助拡大両作業グループまとめ（2013 年）があらためて紹介があった。「奨学金問題改善に向けた第３ステージ」の取り組みの提案があり、地域での具体的な展開方法や広範な運動・世論喚起に向けた手法などについて意見交換があり、生活底上げ・福祉強化キャンペーンを含め、全国での取り組みを全体で確認した。

「奨学金問題改善に向けた第３ステージ」では、９月より広範な運動・世論喚起～「変えよう！奨学金」キャンペーン（仮称）として、アピール（要請事項）について賛同（団体／個人）を集めることを確認した。

第2回 中小企業勤労者福祉関係団体拡大連絡会議開催

事業団体・地方労福協合同会議終了後に「第２回中小企業勤労者福祉関係団体拡大連絡会議」が開催され、中小企業で働く勤労者の総合的な福祉サービスの向上に向け、福祉事業団体間における連携強化や各地域での運動について情報共有ならびに意見交換を行った。

本取り組みについては、2016 生活底上げ・福祉強化キャンペーンの方針にも掲げていることから、引き続き組織間連携を行いながら積極的な活動を展開していくことを確認した。

2016年度 地方労福協事務担当者研修会を開催

7月14日～15日、地方労福協事務担当者研修会を59名の参加で神戸市ホテルモントレにて開催、講演1「マイナンバー制度の実務」講師：小倉税理士より実務に即した内容の講演があった。講演2「協同組合の父、賀川豊彦の軌跡から学ぶこと」と題して神戸にある賀川豊彦記念館参事の西義人氏から講演、およそ運動と名の付くものほとんどに関わった賀川豊彦氏、その偉大な功績を熱心に語っていただきました。二日目は施設見学、阪神淡路大震災から20年がたち、また今年発生した熊本地震、5年前の東日本大震災など頻発する災害に対し防災への意識の向上や災害への備えを目的として「阪神・淡路大震災記念　人と防災未来センター」を見学、最後に語り部にから震災体験談があり、「自分の身は自分で守る」といった教訓や身近にできる防災対策を学びました。

2016年度幡多地区労福協
幡多ライフサポートセンター合同総会開催

6月18日(土) 15：00 ～ 四万十市社会福祉センターにおいて標記の合同総会を開催しました。

●幡多地区労福協総会　15:00 ～（参加者：57名）

まず、高知県職労の横山さんを議長に選出し、幡多地区労福協の今倉会長の「日頃の労福協運動へのご協力への感謝」「賃金状況や平和・原発問題も含め、今の社会が安心して暮らせる状況にない」したがって「継続した労働者福祉向上に向けた取り組みが必要である。」との挨拶ではじまり、ご来賓の折田高知県労福協会長からご祝辞を頂き、葛目四国労働金庫中村支店長、梶全労済中村支所長をご紹介したあと、議案書原案のとおり「2015年度経過報告」「2016年度運動方針」「予算」が承認されました。（休憩）

●幡多ライフサポートセンター総会　16：00 ～（参加者：57名）

総会に先立ち、幡多ライフを設立した立役者の一人でもある、石井県議会議員から委員会での活動報告など県政報告と参議院議員選挙への取り組みについての報告があった後、労福協総会に引き続き、横山さんに議長をお願いし、議案書原案のとおり「2015年度経過報告」「2016年度運動方針」「予算」が承認されました。

2016年度「高岡地区労働者福祉協議会」総会開催

第 16 回高岡地区労働者福祉協議会定期総会が、40 人の会員の皆さんの参加により、7 月 28 日（木）に須崎市民文化会館で行われました。

市川会長のあいさつの後、2015 年度の活動報告及び決算報告、2016 年度の活動方針（案）及び予算（案）が事務局から提案され、満場一致で承認されました。

現在、労働法制の改悪はもとより、年金・福祉の切り下げなど社会が大きく変革しています。安心して暮らせる社会を目指し、高岡労福協で現退一致の取り組む意思統一を行いました。

2016年度「南国・香美・香南地区労働者福祉協議会」総会開催

7 月 15 日に四国労働金庫南国支店会議室において「南国・香美・香南地区労福協」総会が開催されました。

冒頭に竹田地区労福協会長から、昨年度の活動が少なく併せて独自活動もなかった。今後は計画的に活動を実施していく決意を込めた挨拶がありました。来賓として折田高知県労福協会長より東部ライフサポートセンター（仮称）設立に向けた状況と高知県労福協の今後の取り組みを併せて挨拶がありました。

東部ライフサポートセンター（仮称）について、役員の選考や来春設立に向けて、進捗状況や今後の進め方について報告があり、幡多ライフサポートセンターを参考にしながら、本年秋に第 2 回実行委員会を開催することを確認しました。

総会議案はすべて承認され、今年度の活動について全員で取り組んでいくことを確認しました。

2016年度「安芸地区労働者福祉協議会」理事会開催

7 月 21 日に四国労働金庫安芸支店会議室にて安芸地区労福協理事会が 7 名の役員と高知県労福協より来賓に参加していただき開催したしました。

事務局より 2015 年度の活動と決算報告、2016 年度の運動方針及び予算、役員改選について議案提起し、議論を行いました。近年、安芸地区労福協の活動は、安芸地区労や高知県退職者連合安芸地協などの取り組みへの共催活動のみとなっており、今回の理事会の中でも労福協が主体的に行う具体的な運動は提起できませんでした。そのため、各構成団体等でも継続的に議論し、年度途中であっても必要な予算については随時検討、承認していくことを確認し、すべての議案が承認されました。

安芸地区労福協は、高知県労福協と連携しながら、「共助」の輪を地域に広げる取り組みの強化を目指していきます。

2016年度幡多地区労福協「健康に関する学習会」開催

6月18日（土）14:00～四万十市社会福祉センターにおいて「健康に関する学習会」を開催しました。

演　題：「元気にいつまでも生きる」
講　師：中村クリニック院長　石井英治　先生

元気に生きて行くためには病気への予防が最も大切で、このことは江戸時代から言われてきている。
結論から言えば、

・禁煙すること（喫煙が最も体に有害）

・アルコールは適度に摂取すること（アルコール換算25ｇ＝25度の焼酎100ｃｃまで）

・過食をしないこと（メタボだけでなく、食の欧米化により西洋の病気だと思われていた大腸ガンが増えてきている）

・適度な運動（有酸素）とともに、生涯を通じて適正体重を維持すること

・・・ここまでは自分でできるし、継続することが大切です・・・

・定期的な血液検査（血液検査をしないと分からない病気がたくさんある）
・予防接種（肺炎球菌ワクチンなど）
・感染症の検査（Ｂ型肝炎、Ｃ型肝炎はドックの数値が良くても専門的検査が必要）
・ピロリ菌検査　　・骨の検査（65歳以上の方）　・ＣＴ検査　など

・・・ここまでは科学的検査で費用も掛かるが、出来るだけ受けた方が良い・・・

そして、石井先生は消化器内科が専門ということで、胃カメラや大腸カメラなどの画像検査の大切さなどについて、実際の検査や手術の画像などを交えて、大変分かりやすく説明していただきました。

その中で、ガンの予防は難しいが、運動の効果が科学的に立証されているとのことで、

運動＝〇体重減（筋力増→シェイプアップ→気分が良くなる）〇骨粗しょう症の予防（骨折の予防）、〇睡眠障害の改善、〇ガン発生予防、〇うつ病改善、〇認知症予防などへの効果がある。これだけの効果がある薬は今の世の中にはない。

一次予防では運動が最も有効であり、毎日の運動習慣を身に着けることが健康には一番大事であるとのことでした。（目標＝１万歩）

今では、運動量や歩いた経路などが分かるなど、スマホなどの色々なアプリによって楽しく運動を行うことが出来るそうです。あまり無理をせず、週３回程度挑戦してみましょう！

＜メタボがなぜいけないか＞

動脈硬化症が起きる＝血管が固くなり古い水道のように内部にコレステロールが沈着 ⇒ 血管の劣化・⇒ 心筋梗塞・脳卒中　のリスクが高まる。

心筋梗塞や脳卒中を発症すると、元に戻すことが出来ないし、脳卒中の死亡率は20％と高い。
＊但し、後遺症が全く出ない方も20％程度あり、個人差がある。

＜大腸・胃ガンについて＞

厚労省のホームページにも、ガンのリスクを減らす生活習慣について掲載されているが、当然、これを完全に守ってもガンに罹らないと言う訳にはいかない。ガンは加齢が一つの原因であるから、年齢が上がれば上がるほど罹患率は高くなる。

したがって、検診を受け早期発見することが大切で、それには「カメラによる検診」が最も有効で、特に大腸ガンはポリープを切除していけば90％はガンにならないとの論文もあり、大腸ガン・胃ガンは治るガンの代表とのことでした。

＊「大腸ガンは、かつて日本ではかからないと思われていたが、食生活や生活習慣の変化により増えてきた。」とのことです。健康寿命を延ばすためにも、適度な運動と生活習慣が大切であることは大変良く理解できました。
～が、・・・さて実行は？？？・・・

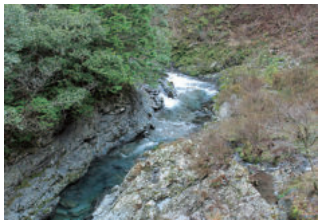
勤労者の森事業

森林セラピーウォーキング　11月5日(土)開催

あなたも「森の中を水路沿いに歩く、癒しの道」を体験してみませんか？

小さな山間の椿原町松原集落にある久保谷セラピーロード。地元の人々と町立の医療機関が協力し合い、現代に生きる人々をいやす体験プログラムの実施や、ガイドの提供などを行っています。

コースは約３kmで、豊かな森の中、水路沿いを歩くセラピーロードは、道ばたに咲く小さな花々や、小鳥たちの鳴き声に心が癒され、セラピー効果はバツグンです。



写真提供
2016奥四万十博推進協議会

開催日程　2016年11月5日（土）

高知方面と幡多方面からバスにて久保谷セラピーロードへ、「森林セラピーウォーキング」を体験した後、現地の方々の「地産地消のおもてなし」、地元ならではのおいしい昼食に舌鼓、地元のふれあいを十分楽しみ、癒しを体感します。

多くの皆様の申込をお待ちしています。

尚、詳しい内容、及び申込方法は会員の皆様へご案内いたします。乞うご期待!!

行　　程　　表

【高知市発】
県民文化ホール前 8:00 発

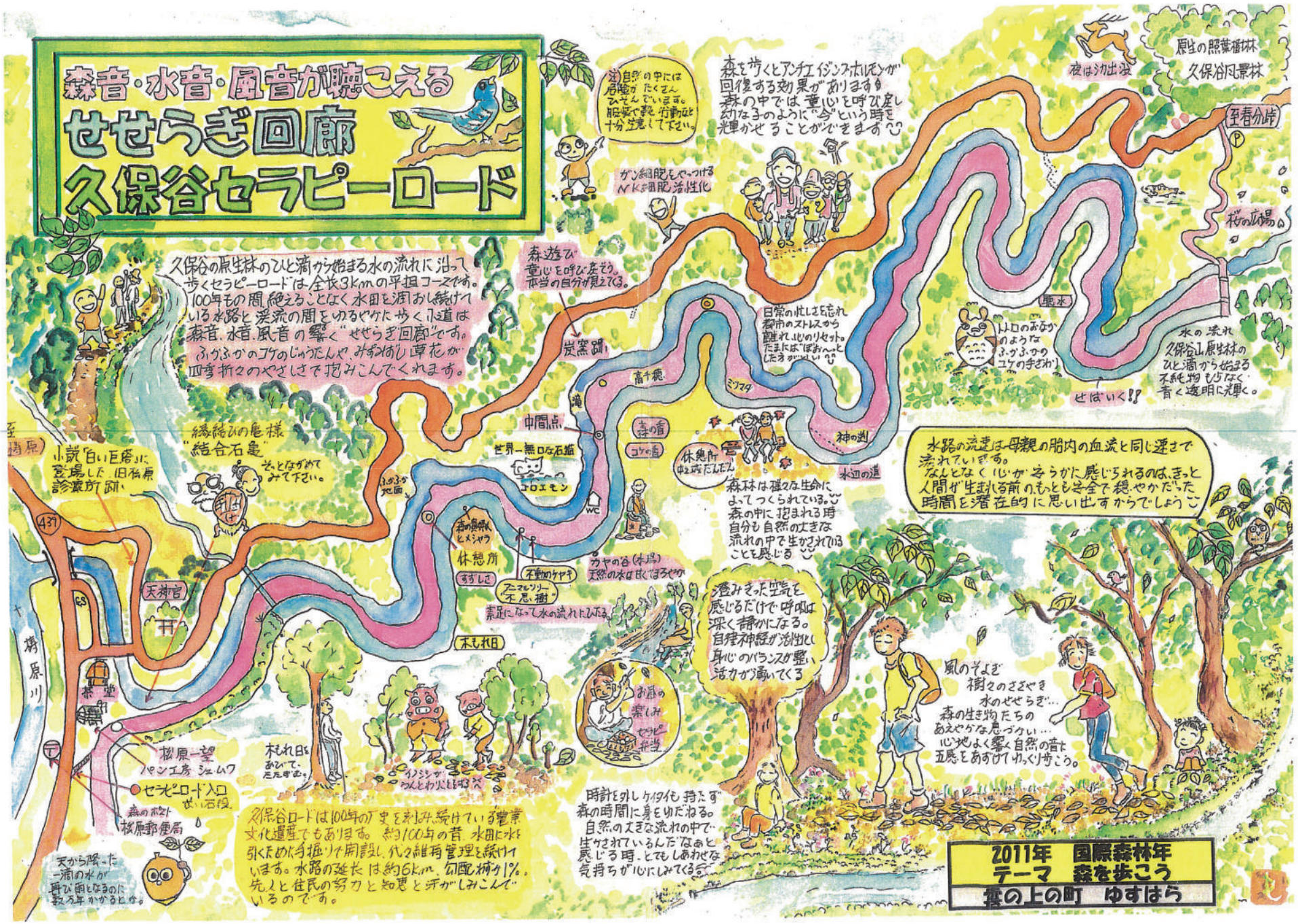
【四万十市発】
高知西南交通本社 7:00 発

→ 道の駅布施ヶ坂（休憩）== 松原集落（各地域合流と団結式）

=== 11:20 着　久保谷セラピーロード（上流側）･･･川に沿って約３キロを約 90 分かけて歩きます･･･
※全国でも珍しい高低差 10 メートル以内の優しいコースです。

=== 12:50 着　松原集落（地元の食材をふんだんに使った婦人会特製の昼食バイキング / 解散式）
14:00 発

【各地別】====== 県民文化ホール前 16:30 頃着 ====== 高知西南交通本社 17:30 頃着


森音・水音・風音が聴こえる
せせらぎ回廊
久保谷セラピーロード
久保谷の原生林のひと滴から始まる水の流れに沿って歩くセラピーロードは全長3kmの平坦コースです。100年もの間、絶えることなく水田を潤おし続けている水路と渓流の間をゆるやかに歩く小道は森音、水音、風音の響く“せせらぎ回廊”です。ふかふかのコケのじゅうたんや、みずみずしい草花が四季折々のやさしさで抱みこんでくれます。
自然の中には危険がたくさんひそんでいます。服装で靴、行動など十分注意して下さい。
森を歩くとアンチエイジングホルモンが回復する効果があります。森の中では童心を呼び戻し幼なごのように“今”という時を満喫させることができます。
夜は沖出没
原生の照葉樹林
久保谷風景林
至春分峠
桜の広場
ガン細胞をやっつけるNK細胞活性化
森遊び
童心を呼び戻そう。
本当の自分が見えてくる。
炭窯跡
高千穂
滝
ミクマリ
中間点
日常の忙しさを忘れ都市のストレスから離れ心のリセット。たまには“ぼおーっ”としたすがいい。
悪水
トトロのおなかのようなふかふかのコケの手ざわり
水の流れ
久保谷山原生林のひと滴から始まる不純物も少なく青く透明に輝く。
ぜはいく!?
縁結びの亀様“結合石亀”
そっとなでてみてください。
小説「白い巨塔」に登場した旧猿原診療所跡
森の香
コケの香
休憩所
トイレ
世界一無口な石猫
エロエモン
神の池
水辺の道
水路の流速は母親の胎内の血流と同じ速さで流れています。なんとなく心がやすらかに感じられるのは、きっと人間が生まれる前のもっとも安全で穏やかだった時間を潜在的に思い出すからでしょう。
森林は種々な生命によってつくられている。森の中に抱まれる時自分も自然の大きな流れの中で生かされていることを感じる。
4引
天神宮
猿原川
森の癒し ヒメシャラ
休憩所
すずしこ
不動のケヤキ
アニマルソリー“不思議”
素足になって水の流れを楽しむ。
カヤの谷(休場)
天然の水は甘くまろやか
木もれ日
澄みきった空気を感じるだけで呼吸は深く静かになる。自律神経が活性し身心のバランスが整い活力が湧いてくる
お昼の楽しみ セラピー弁当
風のそよぎ
樹々のささやき
水のせせらぎ…
森の生き物たちのあえやかな息づかい…
心地よく響く自然の音に五感をあずけてゆっくり歩こう。
禁堂
松原一望
パン工房 シェムワ
セラピーロード入口
せい石段
森のポスト
松原郵便局
木もれ日をあびて、ただ歩む。
イノシシがつんとわり火とともへ
久保谷ロードは100年の歴史を刻み続けている営農文化遺産でもあります。約100年の昔、水田に水を引くために手掘りで開設し、代々維持管理を続けています。水路の延長は約6km、勾配傾斜1%。先人と住民の努力と知恵と汗がしみこんでいるのです。
天から降った一滴の水が再び雨となるのに数万年かかるとか。
時計を外しケイタイも持たず森の時間に身をゆだねる。自然の大きな流れの中で生かされているんだなぁと感じる時、とてもしあわせな気持ちが心にしみてくる。
2011年 国際森林年
テーマ 森を歩こう
雲の上の町 ゆすはら

四国労働金庫 第16回通常総会報告

6月24日に高松市の「ホテルパールガーデン」において、第16回通常総会を開催し、2015年度（第1回3月決算）の事業報告、2016年度事業計画および役員（理事）の補欠選任を含めた4議案すべてが承認されました。

2015年度よりスタートした「第6期中期経営計画」は、10年後の未来へバトンを繋ぐ「みらい創造革新」をメインテーマに掲げ、「ろうきん・お役立ち宣言！（ありがとう祭）」をサブテーマとして改革断行プログラムを策定し、精力的に取り組んでいます。

「第6期中期経営計画」の2年目となる「2016年度事業計画」は、①経営戦略、②財務戦略、③CRM戦略、④営業戦略、⑤IT戦略、⑥コンプライアンス、リスク管理戦略、⑦人事戦略の7項目を重点課題として、当金庫が果たすべき任務と役割を明確にし、会員・勤労者の皆様とともに諸課題を完遂するイノベーション・プログラムです。

事業遂行にあたっては、事業運営3原則に基づき、信頼されるろうきんと、夢・志・働きがいのある職場風土を創造し、「経営ビジョン」ならびに「クレド7カ条」を実現します。

2015年度の「ろうきん運動」において、顕著な業績をあげられた39会員の表彰と、長年にわたり会員推進機構に功績のありました15名の方の表彰を行い、小川理事長より表彰状と記念品を贈呈いたしました。

なお、今総会は、役員の非改選期でありましたが、1名の理事が退任し、補欠役員を選考した結果、川口誠二理事を選任し、2016年度の役員体制を決定いたしました。

よさこい祭り 2016　四国ろうきん

今年も、８月 10 日・11 日の２日間、高知の真夏の祭典「第 63 回よさこい祭り」が開催され、わが『四国ろうきん』チームも５歳から 69 歳までの、総勢 86 名の踊り子隊を編成し、13 年連続 16 回目の出場を果たしました。

出場にあたっては、高知地区推進委員会イベントとして実行委員会を結成し、楽曲や振付のイメージ、衣装デザインなど、打合せを重ね数ヶ月にわたり準備を行いました。

今年のテーマは、昨年に引き続き、【ありがとう祭 2016】とし、日頃の感謝の気持ちを込め、また、「土佐のろうきんここにあり」とアピールしました。

衣装は、上は、地模様の入った紺、下はえんじ色と落ち着いた配色にした上で、男女で襟や帯の色柄を変え、ゴールド系とピンク系により、それぞれの印象を際立たせたものにしました。

楽曲については、職員が作詞を手掛け、「土佐のろうきんつくりしは、土佐で働き暮らす人…」などと、働く者の金融機関であることをアピールしつつ、リズミカルでノリのいい曲にも仕上がり、土佐の夏に熱く演舞する「よさこい祭り」として盛り上がる楽曲となりました。

踊り子隊の構成については、職員とお客様を中心に幅広い年齢層で、リピーターの方を始め、親子やご親戚などの家族ぐるみの参加も多く、練習時から終始、なごやかな雰囲気でした。また、大学や仕事の関係で県外に在住の方も参加いただきましたので、高知での熱いひとときを楽しんでいただけたことと思います。

熱い中での１ヶ月余りの練習でしたが、その成果を存分に発揮して表現すべく、躍動感にあふれ、笑顔満開の踊りを披露し、沿道の観客の皆さんにも、その笑顔と熱気が伝わったのではないかと思います。

本番は、まさに夏真っ盛りの上天気で、その分暑さも厳しい中でしたが、その暑さをものともせずに、熱き血潮をたぎらせて、「よさこい命」と声高に、お城下せましと、明るく元気に踊りぬいた２日間でした。

第62回高知県労働者共済生活協同組合通常総代会ならびに第7回全労済高知県本部代表者会議を開催

去る７月29日（金）に、三翠園において、第62回高知県労働者共済生活協同組合通常総代会ならびに第７回全労済高知県本部代表者会議を開催しました。

当日は多くの総代の方にご出席を賜り、各議案について熱心に耳を傾けていただきました。

全労済高知県本部では、代表者会議で承認いただいた2016年度の事業計画に沿って今後も活動していきますので、協力団体の皆さまのご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

会場全体の様子

議 案 書

山﨑本部長挨拶

≪第62回高知労済通常総代会　議事次第≫

第１号議案　2015年度事業報告および決算報告承認の件
第２号議案　2015年度剰余金処分（案）承認の件
第３号議案　2016年度事業計画および予算設定の件
第４号議案　2016年度役員報酬額設定および退任慰労金支給承認の件
第５号議案　定款の一部改正承認の件
第６号議案　総合（慶弔）共済の事業規約の一部改正承認の件
第７号議案　振替増資承認の件
第８号議案　全労済総会の議案審議の件
第９号議案　全労済総会代議員選出の件
第10号議案　議案決議効力発生の件

≪第７回全労済高知県本部代表者会議　議事次第≫

1．2015年度事業経過報告の件
　⑴　2015年度事業報告
　⑵　2015年度活動報告

2．2016年度事業計画設定の件
　⑴　2016年度活動計画
　⑵　2016年度事業計画
　　・2016年度事業目標設定
　　・2016年度総合予算

以　上

高知県生協連 第58回通常総会開催

高知県生協連第 58 回通常総会を 6 月 28 日（火）に高知会館にて開催しました。

井垣会長の挨拶のあと西岡専務が、会員生協の連携・交流や他団体との協力・連帯を意識して取り組んだ昨年度の活動報告とくらしの協同を県民の中に広げることを理念とし会員生協とともに平和な社会づくりを目指す今年度の活動方針案などを提案しました。すべての議案が満場一致で可決決定され無事総会を終了しました。

2016 年度 高知県生協連の役員体制は下記の通りです。

代表理事会長	井垣　政利	（高知県学校生活協同組合）
副会長	今井　好一	（高知医療生活協同組合）
専務理事	西岡　雅行	（こうち生活協同組合）
常務理事	橋川　慶一	（高知県庁消費生活協同組合）
常務理事	浜崎　敬三	（高知大学生活協同組合）

高知県生協連井垣会長あいさつ

講師の前田氏

また、総会終了後にはニッセイ基礎研究所　主任研究員　前田展弘氏を講師に「2050 年 超高齢化社会のコミュニティ構想～生涯現役社会の実現に向けて」と題し、役職員研修会行われ 50 名余りが参加しました。

講演では『2050 年超高齢社会のコミュニティ構想』・『超高齢未来の展望と課題』・『高齢者の課題と実態』について紹介され、超高齢化社会のコミュニティ「集いの館」づくりに私たちがいまから着手することが大切であることや、東京大学高齢社会総合研究機構などが取り組んでいる千葉県柏市の「生きがい就労事業」について 200 数十名の就労を実現した事例が詳しく報告されました。「生涯現役社会」づくりへの希望が湧いてくる内容でした。

≪ペットボトルキャップを集めています。≫

ペットボトルのキャップで
世界の子どもたちにワクチンを届けよう！
高知県労福協も協力しています。

集めたペットボトルキャップは、リサイクル工場にて資源として有効活用し、集めた個数により「世界の子どもへワクチンを日本委員会」に寄付されています。詳しい内容は下記にお問い合わせください。

一般社団法人高知県労働者福祉協議会
〒 780-0870　高知市本町 4-1-32　こうち勤労センター 5 F
TEL 088-824-3583　Fax088-875-4887
e-mail kochirf@shirt.ocn.ne.jp　URL　http://www.roufuku.com

ファミリーフェスタ 2016

元日本代表 北澤 豪と 高知ユナイテッドSCがやって来る！

（※北澤さんは、14:30頃から参加します）

と　き：２０１６年１０月２９日（土）
　　１２：３０～受付
　　１３：００～１６：００　終了予定
ところ：高知市総合運動場　多目的ドーム
　　高知市大原町158番地
定　員：１００名
　　※見学・観戦のみもＯＫ！（申込み不要です）
対　象：男女問わず、初心者も大歓迎（小学生以上）
持ち物：動きやすい服装、運動靴（スパイク禁止）、ボール（持っている方）、飲料水、タオル、健康保険証（コピー可）
申込み：下記申込書へ必要事項を記入の上、連合高知へＦＡＸにてお申し込み下さい。
　　（１０月７日（金）ＡＭ〆切）

参加費 無　料

連合高知 御中
ＦＡＸ：088－824－3002

＜ファミリーフェスタ２０１６　参加申込書＞

構成組織名・組合名・企業名						
申　込　担　当　者　氏　名						
申　込　担　当　者　連　絡　先						
参　加　者　氏　名	性別	年齢	サッカー経験	所属チーム（ある場合）	保護者　緊急連絡先	
	男・女		有・無			
	男・女		有・無			
	男・女		有・無			
	男・女		有・無			
	男・女		有・無			

↑未成年の場合記入

※１００名定員に達し次第、申込み受付を終了いたします。　お早目に申し込みください！
※会場内での貴重品管理・ご自身の体調管理は参加者の自己責任でお願いいたします。
※本申込書にてご記入いただいた、個人情報は「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、お取り扱い致します。

ー主催ー
日本労働組合総連合会　高知県連合会　連合高知
〒780-0870
高知県高知市本町4-1-32
こうち勤労センター
電話：０８８（８２４）５１１１
ＦＡＸ：０８８（８２４）３００２
http://www.rengo-kochi.jp/